

## (6)平成 17 年 9 月洪水(台風)

8月29日、マリアナ諸島付近で発生した台風14号は、9月6日明け方に屋久島の西海上を通過、大型で非常に強い勢力で6日9時には枕崎の西南西に達しました。その後、薩摩半島の西海上をやや加速しながら北上し、6日14時過ぎには長崎県諫早市に上陸、その後九州北部を縦断し、夜には日本海へ抜けました。

この台風の影響で、肝属川流域では5日から6日にかけて大雨となり、6日の午前7時には1時間に十三塚で61mm、大始良で58mm、高山で57mmの非常に激しい雨を記録し、降り始めからの総雨量は、高山で937mm、大平で820mm、大始良で749mmに達しました。

この大雨により肝属川の水位は上昇し、肝属川本川の俣瀬、王子橋、支川始良川の始良橋では、それぞれ観測史上最高水位を記録する5.30m、3.30m、6.15mを記録しました。流量についても、肝属川本川の俣瀬(基準地点)において、肝属川流域に甚大な被害をもたらした昭和13年10月洪水の約1,740m<sup>3</sup>/sを上回り、観測史上最高流量となる約1,840m<sup>3</sup>/sを記録しました。

流域内の被害は、半壊家屋6戸、床上浸水家屋91戸、床下浸水家屋462戸でした。



写真 1-14 肝属川右岸 8k000 付近  
堤内地浸水状況



写真 1-15 肝属川左岸 10k000 付近  
堤内地浸水状況



写真 1-16 基準地点俣瀬地点(肝属川 3k900)における河道内の状況

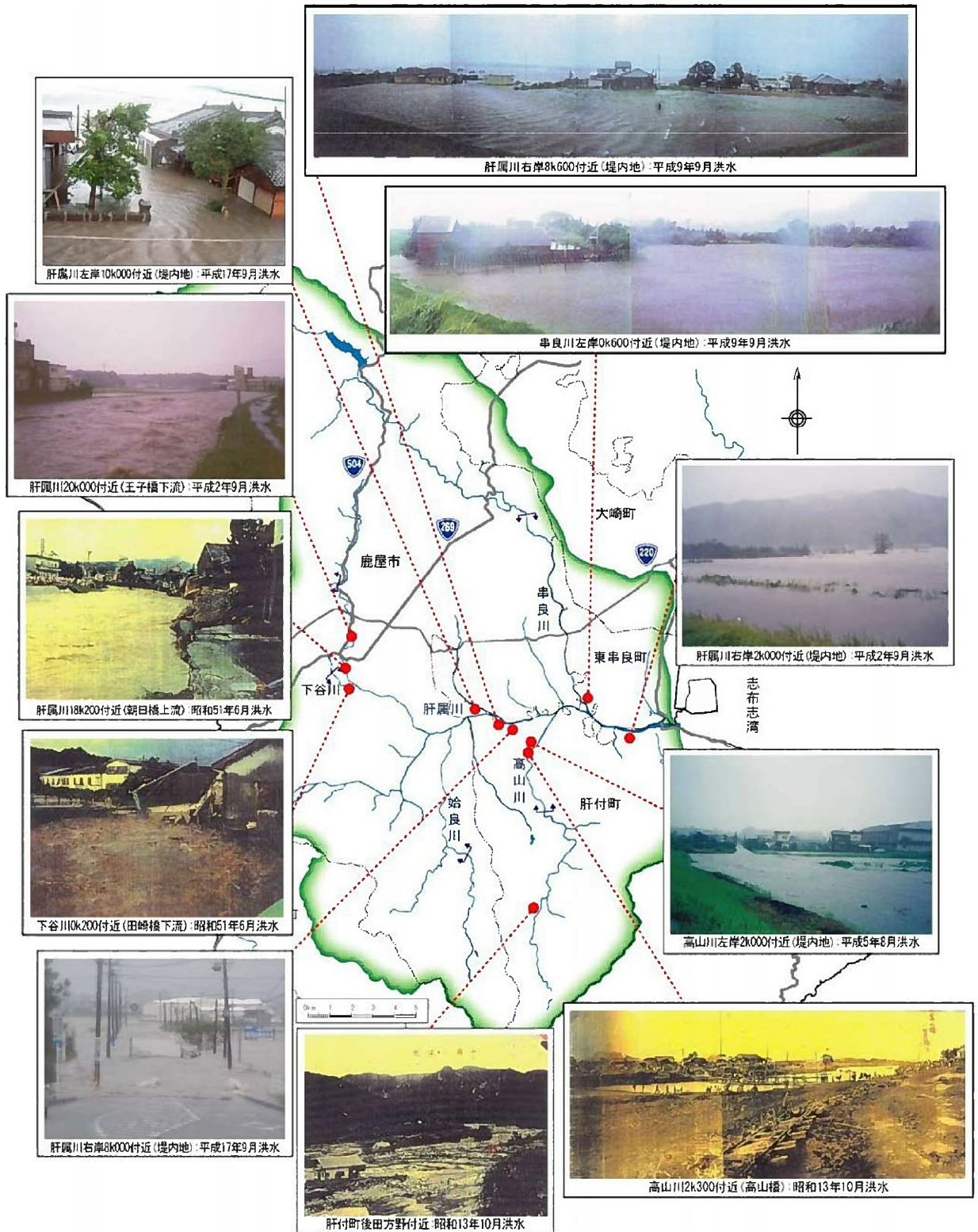


図 1-19 過去の洪水被害状況

## 第2章 流域の現状及び課題

### 2.1 治水の現状及び課題

#### 2.1.1 洪水対策

肝属川流域には一級河川が35河川存在します。この内、肝属川本川に直接流入する一次支川は16河川あり、その他は全てこれらの河川の支川です。

#### <塩入川>

塩入川は、流域面積25.5km<sup>2</sup>、流路延長は約7.9kmであり、肝属川の一次支川です。

塩入川では、弁天橋下流の河道改修が国土交通省によって行われ、昭和56年に完成しています。

弁天橋(1k750)から浜渡橋(4k130)の区間については、平成4年度から中小河川改修事業によって河道改修が進められており、平成27年1月時点で弁天橋(1k750)から中園橋(2k380)区間の河道改修が完成しています。

塩入川では、下表に示すとおり近年では平成16年や平成17年に浸水被害を受けました。

今後も、中園橋(2k380)から浜渡橋(4k130)の区間において河川整備を進めていく必要があります。



写真 2-1 上大橋から下流を望む

表 2-1 塩入川の近年の主な水害

発生年月	浸水面積 (ha)	浸水家屋数 (戸)
S54.8	101.6	88
S58.6	116.5	102
H1.7	107.0	92
H16.8	10.0	95
H16.10	0.01	2
H17.9	15.0	100



写真 2-2 浸水状況〔塩入川下流左岸〕  
(H16.8：東串良町柏原地内)



写真 2-3 浸水状況〔塩入川下流左岸〕  
(H17.9：東串良町柏原地内)

## 2.1.2 高潮、地震・津波対策

肝属川本川の高潮対策区間(河口～1.4km 付近)に合流する塩入川、荒瀬川は、高潮対策が必要です。堤内地に低平な農地が広がる塩入川は、現在、中園橋まで高潮堤防の整備が行われていますが、引き続き高潮対策を実施する必要があります。

肝属川が注ぐ志布志湾は、その東方に国内有数の地震・津波の常襲地帯である南海トラフが位置しており、過去にも大小多くの地震・津波による被害を受けてきました。地震調査委員会が公表している海溝型地震の長期評価によると、南海トラフによるマグニチュード8～9クラスの地震が発生する確率は70%程度と高く、地震津波対策は喫緊の課題となっています。

肝属川流域でも、大規模地震に対する堤防等河川管理施設の安全性を検証したうえで、必要な対策を実施するとともに、津波による被害防止に向け、樋門等の操作体制の更なる確立等、被災の防止・軽減を図る必要があります。

また、平成23年12月14日に制定された津波防災地域づくりに関する法律の枠組み等に基づき、関係機関と連携協力し、ソフト的な対策を進めるとともに、肝属川流域に係わる必要な措置を実施し、総合的な被害軽減を図っていく必要があります。

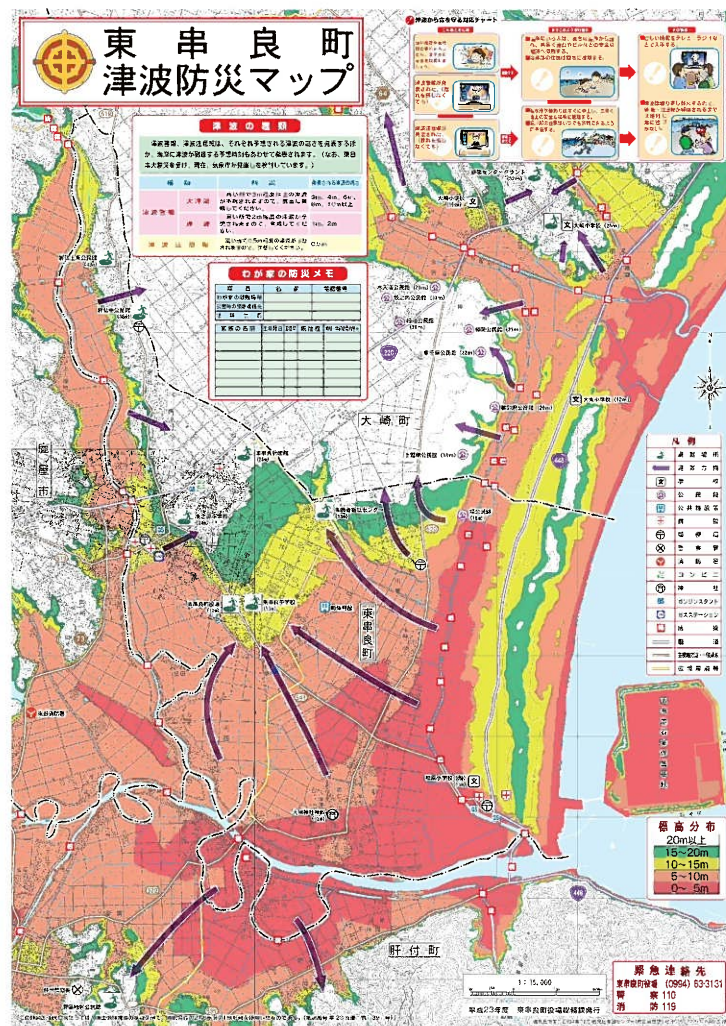


図 2-1 東串良町防災マップ(津波)

### 2.1.3 内水対策

肝属川流域では、肝属川や串良川、高山川等の沿川に広がる低平地において内水被害が発生しており、湛水防除事業等で排水機場が整備されている地区もあります。

今後も、内水被害の拡大防止や被害軽減に努めていく必要があります。



写真 2-4 港原排水機場  
(東串良町新川西)



写真 2-5 吉元排水機場  
(東串良町川西)

### 2.1.4 堤防の浸透などに対する安全性

肝属川流域の堤防は、過去の度重なる水害に応じて築堤や補修等を行ってきた歴史があり、築造の履歴や材料構成等が必ずしも明確ではありません。

また、堤防の構造は、実際の被災状況等を踏まえて定めている場合が多く、過去に整備された堤防は必ずしも工学的な設計に基づくものとなっていないのが現状です。

一方、堤防の背後地には人口や資産が集積している地区も多く、堤防の安全性を確保していく必要があります。

## 2.1.5 危機管理対策

鹿児島県においては、洪水等による被害の発生が予想される場合には、雨量や水位等に関する情報を地域住民や関係機関に提供し、迅速かつ的確な水防活動及び避難活動を実行するため、パソコンや携帯電話を通じて、「鹿児島県河川砂防情報システム」などで雨量や河川の水位等の水防情報等の情報提供を行い、被害の軽減に努めています。また、関係市町や関係機関との防災訓練や防災教育、自主防災組織結成の促進を行うなど防災力向上に努めています。

今後も、これまで実施してきた取組を継続していくとともに、防災意識の浸透、高揚を図るために、地域住民とも連携し、総合的な防災・減災対策を展開していく必要があります。

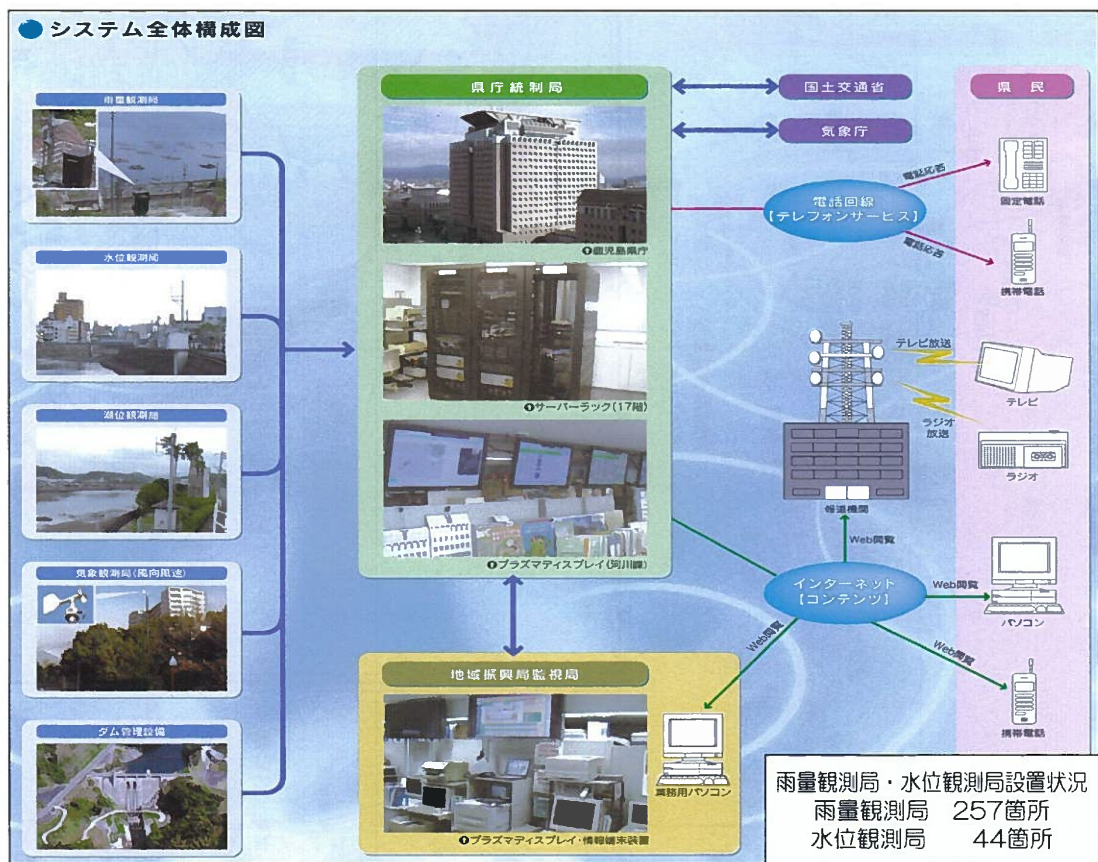


図 2-2 鹿児島県河川砂防情報システム

# 東串良町防災マップ

## ～お家の防災対策～

【避難所】避難所は、災害発生時に避難する場所です。避難所には、避難する人、避難する物、避難する場所があります。避難所には、避難する人、避難する物、避難する場所があります。

【避難所】避難所は、災害発生時に避難する場所です。避難所には、避難する人、避難する物、避難する場所があります。避難所には、避難する人、避難する物、避難する場所があります。

【避難所】避難所は、災害発生時に避難する場所です。避難所には、避難する人、避難する物、避難する場所があります。避難所には、避難する人、避難する物、避難する場所があります。

## 避難時の心得

冷静に、そして速く避難行動。避難準備を早めましょう。  
 避難する時の荷物には、最低限の生活必需品を準備しましょう。  
 避難する時の荷物には、最低限の生活必需品を準備しましょう。  
 避難する時の荷物には、最低限の生活必需品を準備しましょう。



## 避難所施設一覧表

地区名	避難場所	電話番号	収容人数
岩弘	池之原小学校	03-2048	500
豊采	池之原小学校	03-2122	30
池之原	池之原小学校	03-2048	500
川西	東串良中学校	03-2071	800
川西	総合体育館	03-9888	2,000
川西	現場保護センター	03-3131	300
川西	東串良中学校	03-2071	800
川西	総合体育館	03-9888	2,000
新川西	別府原分団詰所		80
新川西	東串良中学校	03-2071	800
新川西	総合体育館	03-9888	2,000
川東北部	老人福祉センター	03-4750	200
川東南部	池原保良会		100
柏原	柏原小学校	03-8504	500
柏原	柏原保良会		300
柏原	柏原小学校	03-8504	500
柏原	柏原保良会		300
柏原	柏原小学校	03-1760	50
柏原	柏原保良会		200

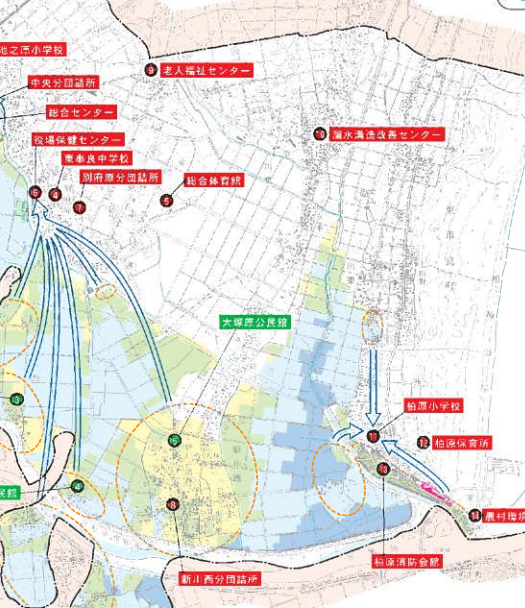
避難所施設一覧表の注釈や補足情報。

災害発生時の対応方法や避難行動の指針。

### 仮避難所施設

地区名	仮避難所
岩弘	岩弘上野公民館
豊采	豊采中野公民館
池之原	池之原公民館
川西	川西公民館
川東北部	川東北部公民館
川東南部	川東南部公民館
柏原	柏原公民館

## 水位に届じた危険度レベル



### 高傾斜地・崖崩れ危険箇所

- 山の傾斜に急峻な箇所がある。
- 崖が崩れやすい箇所がある。
- 急峻な山崩れがある。
- 山崩れが起きた場合に危険な箇所がある。
- 急峻な崖がある。
- 水が溜まりやすい箇所がある。
- 土砂が溜まりやすい箇所がある。

## 避難情報伝達方法



## 地図の見方



## 洪水・土砂災害危険箇所(任意避難マップ)

この地図は、東串良町防災マップの洪水・土砂災害危険箇所を示しています。洪水・土砂災害危険箇所は、洪水・土砂災害が発生した場合に危険な箇所です。

任意避難の必要性。洪水・土砂災害危険箇所は、洪水・土砂災害が発生した場合に危険な箇所です。任意避難の必要性は、洪水・土砂災害が発生した場合に危険な箇所です。

## ～お家の防災～

項目	名前	電話番号
お家の防災		
お家の防災		
お家の防災		

1:25,000 東串良町防災マップのスケールと発行日。

図 2-3 東串良町防災マップ (洪水・土砂災害)

## 2.2 利水の現状及び課題

### 2.2.1 河川水の利用

肝属川流域内の河川水は、古くから農業用水や生活用水等に利用されてきました。

流域内の県管理河川区間には、取水堰が数多く設置されており、沿川農地のかんがい用水として利用されています。近年、渇水被害は無く河川水は比較的安定して利用されています。



写真 2-6 取水堰を右岸から望む(大始良川)



## 2.2.2 水質

肝属川流域の水質に関する環境基準は、平成20年4月以降、肝属川上流でB類型（BOD：3mg/ℓ以下）、肝属川下流でA類型（BOD：2mg/ℓ以下）に指定されています。肝属川本川における近年のBOD値は、概ね環境基準を満足しています。

塩入川では経年的な水質調査は実施されていませんが、平成25年のBOD観測値は0.5～0.9mg/ℓとなっており、A類型（BOD：2mg/ℓ以下）相当の水質となっています。

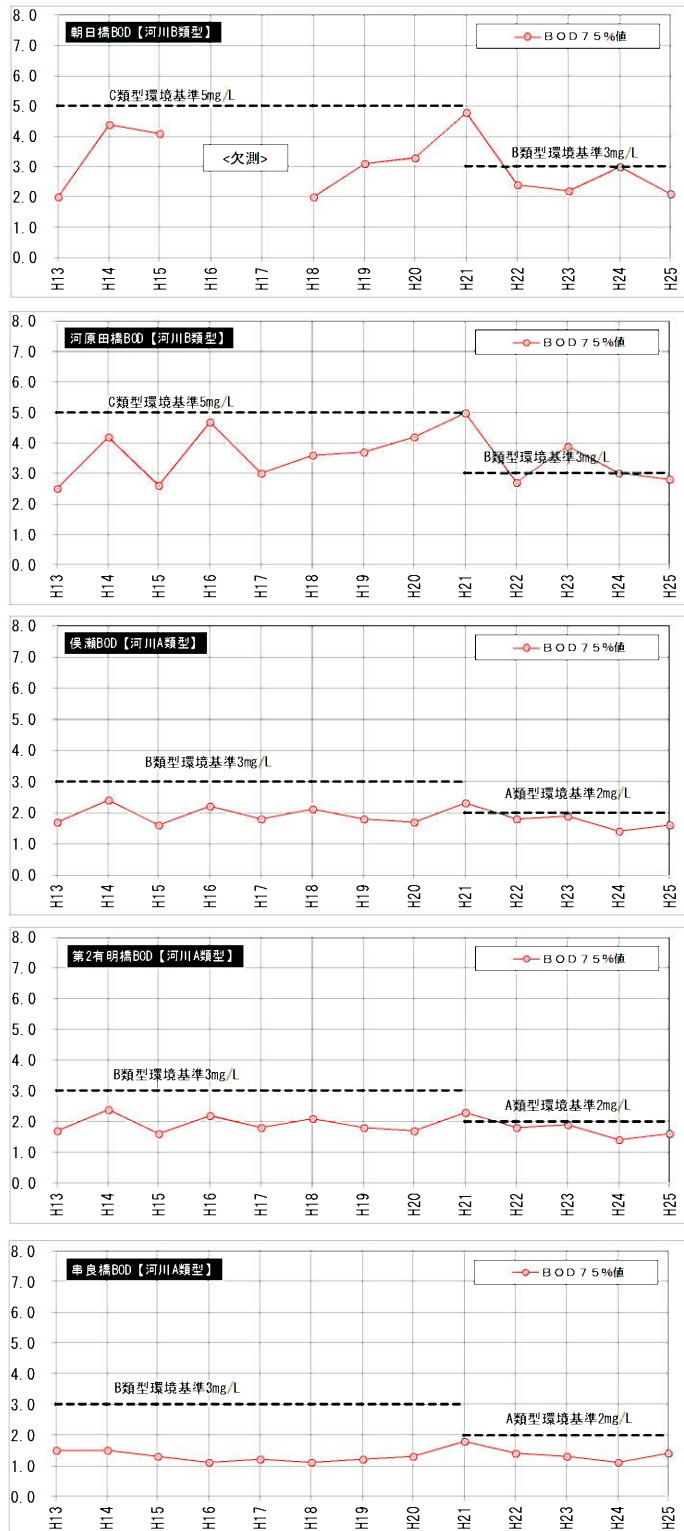


図 2-4 BOD 経年変化

表 2-2 BOD 調査結果(塩入川)

調査地点	H26. 9. 10	H27. 1. 19
塩入川(柏原橋下)	0.9(mg/ℓ)	0.7(mg/ℓ)
塩入川(管理区間上流端)	0.6(mg/ℓ)	0.5(mg/ℓ)

(出典：「H26 年度総合流域防災(河川)調査委託報告書」)



図 2-5 肝属川流域環境基準地点及び類型指定状況図

## 2.3 河川環境及び河川利用の現状及び課題

### 2.3.1 自然環境

肝属川流域は、豊かな自然環境を有し、肝属川本川源流部の高隈山周辺及び支川串良川上流の高隈ダム周辺は「高隈山県立自然公園」、河口周辺は「日南海岸国定公園」に指定されています。

肝属川本川及び支川串良川源流部の高隈山地は、人の手がほとんど加わっていない照葉樹林帯で、国の天然記念物であるヤマネ(ネズミ目ヤマネ科)が生息しています。また、高隈山県立自然公園に指定されている高隈山周辺は、昭和46年に「おおすみ自然休養林」、平成9年に「森林生物遺伝資源保存林」に指定、昭和47年に「21世紀に残したい日本の自然100選」に選定され、大隅湖等とあわせて自然探勝や行楽で訪れる人々で賑わいを見せています。

肝属川河口左岸の日南海岸国定公園に指定されている柏原海岸は、砂丘地と松林の白砂青松の海岸線が優美に続く景勝地で、鹿児島県有数の名勝地となっています。

表 2-3 肝属川流域内国定公園及び自然公園一覧表

種別	公園名	指定年月日等	備考
国定公園	日南海岸国定公園	昭和30年6月1日 1,039ha(鹿児島県内)	
県立自然公園	高隈山県立自然公園	昭和52年6月1日 2,437ha	



図 2-6 肝属川流域の国定公園及び自然公園位置図

塩入川の植生は、浜渡橋～上大橋間では、川沿いにオギ群集やヨシ群落等の水際植生が多く見られ、河川内には保護上重要な種としてナガエミクリ、特定外来生物としてオオフサモが確認されています。弁天橋～上大橋間では、川沿いに外来種群落やオギ群集等の水際植生が多く見られ、河川内には保護上重要な種としてタコノアシ等が確認されています。弁天橋～肝属川合流点では、川沿いにヨシ原が広がっており、左岸側には一部森林が見られます。

魚類は、低平な農地を緩やかに流れる上流では、オイカワ、シマヨシノボリ、モツゴ等の多様な魚類が生息しており、保護上重要な種としてニホンウナギ、ミナミメダカ、タケノコカワニナが確認されています。汽水域である下流は、ボラ、スズキ、マハゼ等の海でも生息する魚類が生息しており、保護上重要な種としてメダカ南日本集団等が確認されています。

鳥類は、水辺を利用するサギ類やシギ類、カワセミ、カルガモ等が見られます。

河川改修にあたっては動植物の生息環境に配慮し、現状のみお筋を極力保全し、生物の大切な生息・生育の場である瀬・淵を創出するとともに、魚類の産卵や稚魚の安全なすみかとなる水際を保全していく必要があります。また、堰により河川の連続性が保たれていない箇所もあるため、魚道を設置し、水生生物の生息環境に配慮していく必要があります。

表 2-4 塩入川で確認された保護上重要な動植物

河川名	分類	種名	指定区分
	植物	タコノアシ	環境省 RL：準絶滅危惧
			鹿児島県 RL：絶滅危惧Ⅱ類
	植物	ナガエミクリ	環境省 RL：準絶滅危惧
			鹿児島県 RL：絶滅危惧Ⅱ類
	魚類	ニホンウナギ	環境省 RL：絶滅危惧ⅠB類
			鹿児島県 RL：絶滅危惧Ⅰ類
	魚類	ミナミメダカ	環境省 RL <sup>4</sup> ：絶滅危惧Ⅱ類
			鹿児島県 RL：準絶滅危惧
	底生動物	タケノコカワニナ	環境省 RL：絶滅危惧種Ⅱ類
			鹿児島県 RL：準絶滅危惧



『タコノアシ』

本州，四国，九州等に分布する多年生草木。高さ 30～80cm で，泥湿地に帯状に群落をつくる。

写真 2-8 タコノアシ  
(環境省 RL：準絶滅危惧)  
(鹿児島県 RL：絶滅危惧Ⅱ類)



写真 2-9 ナガエミクリ  
(環境省 RL : 準絶滅危惧)  
(鹿児島県 RL : 絶滅危惧Ⅱ類)

### 『ナガエミクリ』

北海道，本州，四国，九州等に分布する多年生の浮遊～抽水植物。各地の池沼や水路，水湿地などの浅い水中に直立して群生する。主に河川本流から分断された止水部に生育する。



写真 2-10 ニホンウナギ  
(環境省 RL : 絶滅危惧ⅠB類)  
(鹿児島県 RL : 絶滅危惧Ⅰ類)

### 『ニホンウナギ』

北海道から琉球半島等にかけて分布する回遊性の魚類。河口から上流まで広い範囲に生息しているが，河口から下流域にかけての感潮域に多い。



写真 2-11 ミナミメダカ  
(環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類)  
(鹿児島県 RL : 準絶滅危惧)

### 『ミナミメダカ』

青森県以南の本州から琉球半島等にかけて分布する淡水魚。山間から河口周辺の平野部まで広い範囲に生息する。水田地帯に多く，用水路や溜め池，湿地等に多く見られる。塩分への耐性が強く，汽水域にも現れる。水生植物のよく繁茂した場所を好み，水面付近を群泳する。



写真 2-12 タケノコカワニナ  
(環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類)  
(鹿児島県 RL : 準絶滅危惧)

### 『タケノコカワニナ』

本州中部以南，四国，九州等に分布する汽水生の貝類。殻高 61mm，殻径でカワニナに比べると殻は厚い。カワニナが卵胎生であるのに対し，タケノコカワニナは卵生である。卵からふ化した幼生は浮遊生活を経て稚貝へと成長し底生生活にはいる。

## 2.3.2 景観と文化財

### (1) 景観

肝属川本川上流部の山間地を流れる区間は、堰による湛水域と瀬・淵が連続しており、河岸には河畔林が分布するなど変化に富んだ河川景観を呈しています。山間地下流には鹿屋市街地が形成されており、その中心部を流れる区間は家屋等が近接し、都市河川の様相を呈しています。

肝属川河口から上流の山間地までの変化に富んだ景観として、肝属川本川源流部の高隈山周辺及び支川串良川上流の高隈ダム周辺は「高隈山県立自然公園」、河口周辺は「日南海岸国定公園」に指定されています。

高隈山県立自然公園は、屋久島、霧島山に次ぐ高山群である高隈山地と大隅湖などが指定されています。高隈山地は大笥柄岳(1,236m)や御岳(1,181m)など、1,000mを超える比較的急峻な高峰が連なっており、南北に主稜線を走らせる満壮年期地形を示しています。高隈山の麓に位置する猿ヶ城溪谷は、花崗岩の奇岩・巨岩が連なっており、刀剣山の断崖には赤松の美しい並木が続く等、雄大な景観を呈しています。

日南海岸国定公園は、鹿児島、宮崎の両県にまたがる公園で、鹿児島県側は、志布志湾に面する長大な砂丘海岸地帯が指定されています。この砂丘は、長さ約15km、幅0.5～1kmの大規模なもので、肝属川など4河川が砂丘を横切って志布志湾に注いでいます。また、志布志湾の南方約5km、志布志湾の洋上に浮かぶ枇椰島<sup>びろう</sup>は無人島で、熱帯の小島といった景観を呈しています。

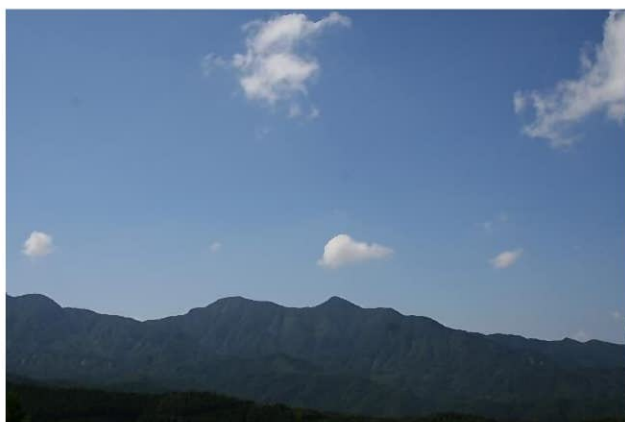


写真 2-13 高隈山系 (鹿児島県 HP)



写真 2-14 刀剣山 (鹿児島県 HP)



写真 2-15 日南海岸 (鹿児島県 HP)



写真 2-16 枇椰島 (鹿児島県 HP)

## (2)文化財

肝属川流域の国指定史蹟「唐仁古墳群<sup>とうじん</sup>」は、前方後円墳と円墳等を含め合計 132 基が国の指定を受けており、代表的なものに大塚古墳(1 号墳)、役所塚(100 号墳)、向塚(33 号墳)等があります。県内最大級の古墳群で、大塚古墳(1 号墳)は九州で三番目に大きな古墳となっています。

「塚崎古墳群」は、4 世紀後半から 5 世紀前半にかけて築造されたと考えられる古墳群で平成 16 年度から発掘調査が行われており、現在、前方後円墳 5 基、円墳 39 基が存在しています。古墳に供えられた須恵器や埴輪などの遺物や地下式横穴墓 18 基の存在も確認されており、国指定文化財となっています。

「中山池の庚申塔」は中山池の公園横に水神祠と並んで建っており、塔身の縦 100 cm、幅 25 cm、横 57 cm の台上に建って船の形の碑に浮き彫りされた像が正面にあり、右側に「享和二年奉建立壬戌十一月吉日」、左側に「中山中人数八拾人」に記銘があり、江戸時代の庚申信仰を偲ばせており、鹿屋市の有形民俗文化財に指定されています。

「獅子目清水の石塔群」は鎌倉末期から江戸時代に及ぶ石塔群で、戦乱期の逆修供養塔群、伊集院三河守の追善供養塔、正応寺の僧侶の供養塔など多くの石塔があり、鹿屋市の史跡となっています。

「野里の田の神」は高さ 70 cm、軟質凝灰岩できていて、寛延 4 年(1751 年)に作られ、鈴持ち田の神舞型で最古のものといわれています。鹿屋市の有形民俗文化財に指定されています。



写真 2-17 唐仁古墳群  
(鹿児島県 HP)



写真 2-18 塚崎古墳群  
(肝付町 HP)



写真 2-19 中山池の庚申塔  
(鹿屋市 HP)



写真 2-20 獅子目清水  
の石塔群  
(鹿屋市 HP)



写真 2-21 野津の田の神  
(鹿屋市 HP)

### 2.3.3 河川空間の利用

肝属川全体では年間約 20 万人の河川利用者があると推計されています（平成 21 年度河川水辺の国勢調査河川空間利用実態調査結果）。利用形態の内訳は、釣りが約 6%，水遊びが約 11%，スポーツが約 3%，散策等が約 80%となっています。

河川の利用については、谷田の滝、轟の滝等の景勝地における観光、河川敷や堤防における散策やスポーツ、花火大会等のイベント会場等、多岐に利用されていますが、利用割合では堤防や河川敷がほとんどを占めています。

肝属川は、水質が環境基準を満足していない肝属川上流（河原田橋から上流）における水質改善に向けて平成 17 年 3 月に「肝属川水系肝属川水環境改善緊急行動計画」が策定されており、地域住民や関連機関と連携して水質の改善を推進しています。この中では、人々が親しめる水辺空間としての水辺プラザ事業や和田井堰親水公園の整備や環境フェスタや出前講座による河川環境教育等が実施されています。

塩入川は、土地改良事業等により整備された農地が広がる低平地を流れる河川であり、河川の水はかんがい用水として利用されています。

一方では、散策などの利用が多いことから、階段、スロープ等による水辺へのアクセスの向上等の地域住民が川と親しめるような整備が求められています。

塩入川流域東には白砂青松が美しい柏原海岸があり、年間を通してさまざまな姿を見せています。特に 4 月には満開の町花「ルーピン」の中、「東串良ルーピンフェスティバル」が開催されています。

また、塩入川流域西の大塚神社では、「唐仁の八月踊り」が行われています。この踊りは、江戸時代初期の林田堰の竣工を記念して踊り始められたと伝えられています。現在は、唐仁地区として踊られていて、曲も 14 曲になっています。



写真 2-22 ルーピンフェスティバル  
(東串良町 HP)



写真 2-23 唐仁の八月踊り  
(鹿児島県 HP)




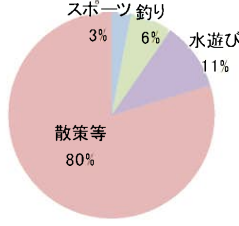




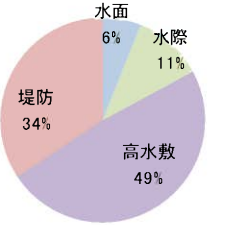



区分	項目	年間推計(千人) 〔平成21年度〕	利用状況の割合 〔平成21年度〕
利用形態別	スポーツ 	6	
	釣り 	13	
	水遊び 	21	
	散策等 	157	
	合計	198	
利用場所別	水面 	12	
	水際 	22	
	高水敷 	96	
	堤防 	68	
	合計	198	

図 2-7 肝属川の年間河川空間利用状況



写真 2-24 高山夏祭り花火大会

(肝付町 HP)

毎年8月12日に行われる高山夏祭り花火大会では、約4,000発の花火が打ち上がり、ネオンのない田舎の夜空を鮮やかに彩っている。暗闇での輝きが際立つため、遠方から観客が多く訪れる。



写真 2-25 流鏝馬

(肝付町 HP)

駆け抜ける馬にまたがり、若武者が弓矢で的を射る。900年の伝統を誇る行事で、高山川河川敷では、やぶさめ祭りも開かれ若武者パレード、魚のつかみどり大会などが行われ、町内外から多くの人々が訪れる。



写真 2-26 大隅湖

(鹿児島県 HP)

春はサクラ、初夏はアジサイ、冬は渡鳥と季節ごとに様々な自然の表情が楽しめる。流域を代表するフィッシングポイントで大物も多く生息している。



写真 2-27 ふれあいの森

(鹿児島県 HP)

「県森林浴の森」に選定された柏原海岸の松林の中にある。キャンプ場の他にアスレチック場もあるので、思いっきり体を動かして楽しむことができる。

### 第3章 河川整備計画の対象区間及び対象期間

#### 3.1 河川整備計画の対象区間

本整備計画の対象区間は、肝属川流域の県管理河川 34 河川です。（甫木川は除く）

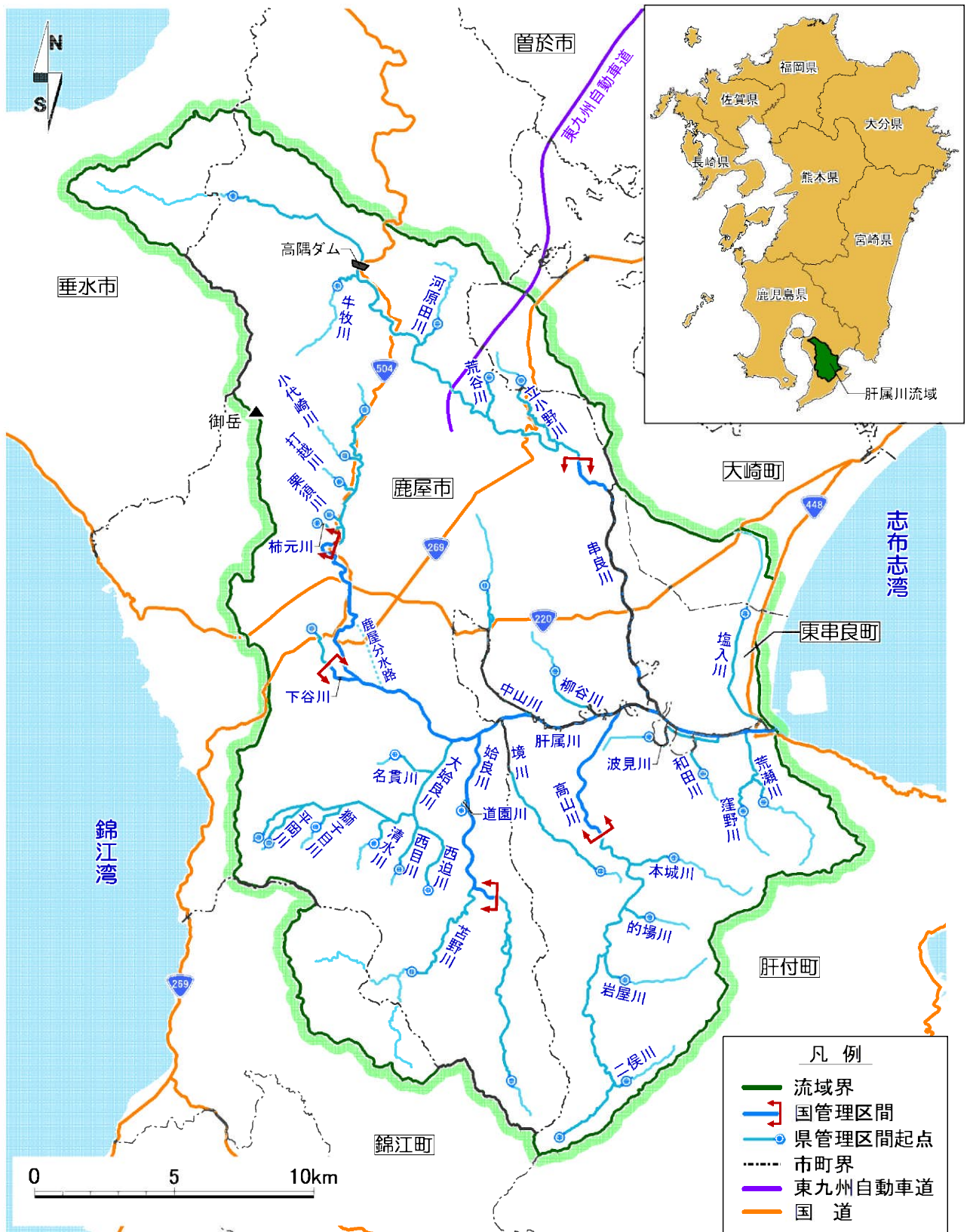


図 3-1 肝属川流域の県管理河川

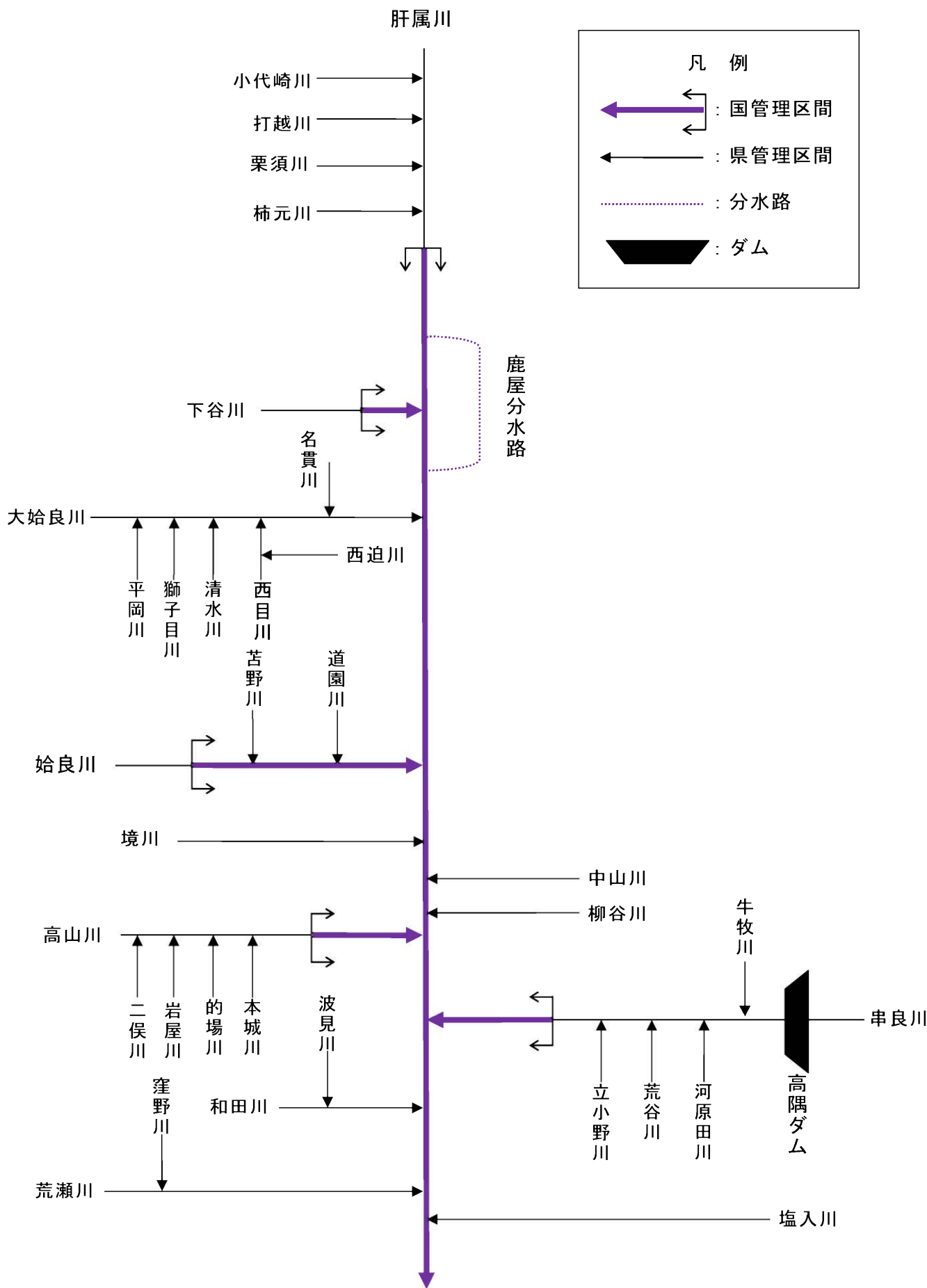


図 3-2 肝属川流域の県管理区間の河川構造図

表 3-1 計画対象河川

河川名	区間		河川延長 (m)	流域面積 (km <sup>2</sup> )
	上流端	下流端		
キモキガワ 肝属川	左岸 鹿屋市下高隈町吉ヶ別5,826番地先 右岸 鹿屋市下高隈町字堂の後5,687番1地先	左岸 鹿屋市祓川町3,947番地先の県道橋 右岸 鹿屋市祓川町3,947番地先の県道橋	10,300	36.5
シオイリガワ 塩入川	左岸 肝属郡東串良町大字川東字浜渡2,139番地先 右岸 肝属郡東串良町大字川東字浜渡2,049番地先	肝属川合流点	4,200	25.5
アラセガワ 荒瀬川	左岸 肝属郡高山町大字波見鹿屋事業区目平国有林65班のい小班地先 右岸 肝属郡高山町大字波見鹿屋事業区目平国有林68班のほ小班地先	肝属川合流点	3,000	15.1
クノミガワ 窪野川	左岸 肝属郡高山町野崎字芦平3,113番地先 右岸 肝属郡高山町野崎字芦平3,115番地先	荒瀬川合流点	1,500	2.9
ウダガワ 和田川	左岸 肝属郡高山町大字野崎字山之口258番地先 右岸 肝属郡高山町大字野崎字栗須添267番の口地先	肝属川合流点	2,300	16.8
ハミガワ 波見川	肝属郡高山町大字新富字四十割2,914番の2地先の農道橋	和田川合流点	2,300	12.2
ゲラガワ 串良川	左岸 鹿屋市大字上高隈町字宮下り地先 右岸 鹿屋市大字上高隈町字柵木野渡地先	左岸 鹿屋市串良町大字細山田字水洗801番地の口地先 右岸 鹿屋市串良町大字細山田字川久保4,130番地の1地先	16,900	96.8
タチオノガワ 立小野川	左岸 肝属郡串良町大字細山田字長竿1,850番地先 右岸 肝属郡串良町大字細山田字長竿1,850番地先	串良川合流点	3,600	10.4
アラセガワ 荒谷川	左岸 肝属郡串良町大字細山田字出口2,780番地先 右岸 肝属郡串良町大字細山田字出口2,780番地先	串良川合流点	1,500	1.4
カワハラダガワ 河原田川	左岸 鹿屋市下高隈町1,164番1地先 右岸 鹿屋市下高隈町269番2地先	串良川合流点	1,200	7.6
ウシマキガワ 牛牧川	左岸 鹿屋市上高隈町字砂野1,946番地先 右岸 鹿屋市上高隈町字牛牧1,878番地先	串良川合流点	1,200	18.0
コヤマガワ 高山川	左岸 肝属郡高山町大字後田国有林第35林班小班地先 右岸 肝属郡高山町大字後田国有林第35林班ト小班地先	左岸 肝属郡肝付町大字前田字布尾323番の1地先 右岸 肝属郡肝付町大字新富字築ヶ城7,737番地の5地先	15,200	49.2
ホンジョガワ 本城川	左岸 肝属郡高山町新富8,221番地先 右岸 肝属郡高山町新富8,674番地先	高山川合流点	1,700	8.1
マドバガワ 的場川	左岸 肝属郡高山町大字後田字山田平741番の2地先 右岸 肝属郡高山町大字後田字栗毛谷7,546番の2地先	高山川合流点	1,000	3.2
イワキガワ 岩屋川	左岸 肝属郡高山町大字後田字杉之元6,958番地先 右岸 肝属郡高山町大字後田字堂ノ後7,078番地先	高山川合流点	1,400	9.3
フスマガワ 二俣川	左岸 肝属郡高山町大字後田国有林第39林班ほ小班地先 右岸 肝属郡高山町大字後田国有林第40林班い小班地先	高山川合流点	500	3.8
ヤノミダニガワ 柳谷川	左岸 肝属郡串良町大字上小原字上堤5,567番地先 右岸 肝属郡串良町大字上小原字上堤5,569番地先	肝属川合流点	2,700	8.7
ナカヤマガワ 中山川	左岸 肝属郡串良町大字有里字鳥巢前7,816番地先 右岸 肝属郡串良町大字有里字鳥巢前7,816番地先	肝属川合流点	5,900	18.6
サカイガワ 境川	左岸 肝属郡高山町大字後田字永和和1,431番1地先 右岸 肝属郡高山町大字後田字永和和1,432番2地先	肝属川合流点	6,600	13.4
アイラガワ 始良川	左岸 肝属郡吾平町大字麓字杖立原5,717番地先 右岸 肝属郡吾平町大字麓字杖立原5,714番2地先	左岸 鹿屋市吾平町大字上名字水流4,909番の2地先の県道橋 右岸 鹿屋市吾平町大字上名字西方高迫5,684番の3地先の県道橋	8,000	24.1
ドウソノガワ 道園川	左岸 肝属郡吾平町大字麓字喜子田3,395番の1地先 右岸 肝属郡吾平町大字麓字宮元3,403番の3地先	始良川合流点	900	0.9
トマンガワ 苦野川	左岸 肝属郡吾平町大字下名字木浦3,615番地先 右岸 肝属郡吾平町大字下名字太郎ヶ崎3,749番の2地先	始良川合流点	5,300	31.0
オオアイラガワ 大始良川	左岸 鹿屋市大始良町字六反691番地先 右岸 鹿屋市大始良町字城之下257番地先	肝属川合流点	11,600	17.5
ナヌキガワ 名貴川	左岸 鹿屋市名貴町字坂本529番地先 右岸 鹿屋市名貴町字竹之下1,028番地先	大始良川合流点	1,700	9.6
ニシメガワ 西目川	左岸 肝属郡吾平町大字上名字妙現前2,626番地先 右岸 肝属郡吾平町大字上名字山下2,559番地先	大始良川合流点	2,200	4.2
ニシヤコガワ 西迫川	肝属郡吾平町上名字石井手3,317番の3地先の町道橋	西目川合流点	3,300	3.8
シミズガワ 清水川	左岸 鹿屋市南町字松元2,685番地先 右岸 鹿屋市南町字松元2,687番地先	大始良川合流点	1,200	5.1
シシメガワ 獅々目川	左岸 鹿屋市獅々目町字前畑583番地先 右岸 鹿屋市獅々目町字前畑568番地先	大始良川合流点	1,400	5.8
ヒラオカガワ 平岡川	鹿屋市大始良町447番地先の農道橋	大始良川合流点	2,200	3.2
シモタニガワ 下谷川	左岸 鹿屋市西原町字上谷11,545番地先 右岸 鹿屋市西原町字上谷11,649番地先	左岸 鹿屋市新栄町13番地先の市道橋 右岸 鹿屋市新栄町12番地先の市道橋	1,700	14.0
カキトガワ 柿元川	鹿屋市祓川町4,467番地先の市道橋	肝属川合流点	1,200	1.5
クリスガワ 栗須川	鹿屋市祓川町4,644番2地先の農道橋	肝属川合流点	500	1.4
ウチコシガワ 打越川	鹿屋市上祓川町8,371番地の取水堰	肝属川合流点	800	6.2
コトザネガワ 小代崎川	鹿屋市上祓川町9,103番地先の取水堰	肝属川合流点	1,100	3.7

※ 楠木川については別途策定済です